# AIOH61-01
# 分解・組み立てガイド

本分解組み立てガイドは本製品をベアボーンパーツ ( 自作パソコン組み立てキット ) として購入された方向けに、AIOH61-01 を組み立てるための手順について説明するものです。OS 導入済みの完成品パソコンとして購入された場合、分解しますと製品保証の対象外となります。絶対に分解なさらないで下さい。

**◆作業の際に必要になる工具◆**

・プラスドライバー (No.2) ・プラスドライバー (No.1)

※小型の No.1 サイズのドライバーは光学ドライブを固定する L 字金具の取り付けのための小ネジの取り付けの際に使用します。

**⚠ - 注意事項 -**

分解・組み立て中の物理的な破損は保証対象外となりますので、作業は各部位、特に電子パーツ類を破損させないよう、十分な注意の上で行ってください。
また、作業の際、液晶面を下にして作業する関係で、液晶面を傷つけてしまう恐れがあります。作業の前に、液晶面を保護するフィルムは剥がさずに行うことをお勧め致します。液晶面の傷はタッチ機能や液晶の表示上の不良の原因となります。ゴミや突起の無い平らな机等の上で作業することをお勧め致します。

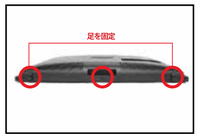
## ◆準備

STEP＃01
画面側を下にして机の上などの平滑で十分大きく余裕をもって作業できる場所に置き、作業します。
※この際、画面を傷つけないよう、保護フィルムが貼られた状態のままで作業することをお勧めします。同じく、突起やゴミなどで画面が傷つかないよう十分ご注意下さい。

STEP＃02
本体足のネジをそれぞれ取り外します。

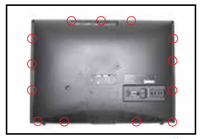
STEP＃03
ネジを取り外すと足を取り外すことができます。足を本体の上方向に傾けると足が外れます。

STEP＃04
次に本体背面を覆うプラスチック板を外します。プラスチック板は 5 本のネジで固定されています。まずネジの方から外します。
始めに本体背面の上側左右 2 カ所のネジを外します。




STEP＃05
次に、本体底面の 3 カ所のネジを外します。
2 カ所はゴム製の足の固定を兼ねているネジです。1 カ所は底面中央のネジです。

STEP＃06
プラスチック板は全ての面が爪で固定されており、意図せず外れないよう強力に取り付けられています。外すためにはかなり大きな力が必要になります。



STEP＃07
プラスチック板は合計 13 カ所の爪で固定されています。

STEP＃08
取り外しは底面側から行うとやや簡単です。

STEP＃09
親指をくぼみに入れ、上に引き上げると同時に、他の指は背面の板を押します。

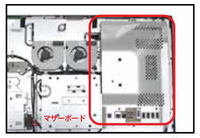
STEP＃10
板がゆがみ、底面の爪が外れ、上にもちあがります。外れた部分から指などを入れて持ち上げ、外します。(※1 右ページ注意事項参照)

STEP＃11
底面を外す際は左側 ( 光学ドライブ取り付け穴のある方 ) から外すことを強くお勧めします。右側は端子類が存在するため、右側から外してしまいますと、端子が破損する恐れがあります。

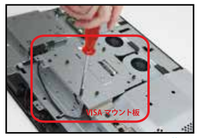
STEP＃12
右側も同じように外します。外す際、端子を破損させないよう十分ご注意下さい。

STEP＃13
底面、左右両面が外れると、背面の板が外れます。

STEP＃14
背面板が取れました。




STEP＃15
次に、マザーボードを覆う金属板を外し、CPU やメモリを取り付けます。マザーボードを覆う金属板は右側の金属板になります。
※この金属板は VESA マウント板にネジが隠れています。このため、まず始めに VESA マウント板を外します。

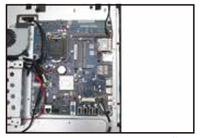



STEP＃16
VESA マウント板の 4 本のネジを外します。

STEP＃17
VESA マウント板が外せたら、マザーボードを覆う金属板を外します。ネジ 6 本で固定してありますので、それぞれ外しましょう。

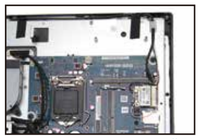
STEP＃18
金属板の端にはマザーボードの各種端子が存在します。金属板を外す際、端子を破損させないよう十分ご注意下さい。まず、ネジの取り外し後、左側を上に引き上げます。

STEP＃19
その後、端側に少し押し、端子をくぐらせるようにして外します。



STEP＃20
金属板を外し、マザーボードが現れました。

## ◆CPU の取り付け



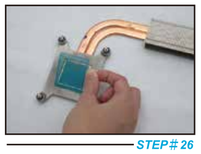
STEP＃21
マザーボードにアクセスできるようになったら、まず CPU の取り付けを行います。黒い CPU ソケットカバーを「REMOVE」と記載のある面を持って慎重に外します。

STEP＃22
予めご用意いただいた CPU を取り付けます。
この際、ソケットと水平にゆっくりと取り付けて下さい。(※2 右ページ注意事項参照)

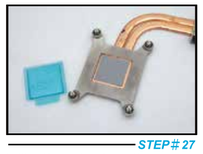
STEP＃23
CPU を設置後、ソケットをレバーで固定します。

STEP＃24
固定できました。

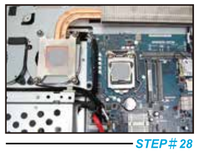
STEP＃25
CPU を取り付けたら、次にヒートシンクを取り付けます。ヒートシンクは付属品の箱に収められた L 字型の大きい金属部品で、ヒートシンク・ヒートパイプ・フィン部分が一体になっています。



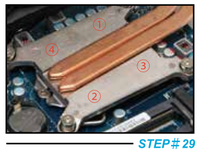
STEP＃26
ひっくり返して裏面を確認すると、四角いヒートシンク部分にはグリスを保護するためのプラスチック板が貼られていますので、出っ張った「REMOVE」の部分を持って剥がします。



STEP＃27
保護板を外すと灰色のグリスが塗られているのがわかります。これを触れないようにしながら、取り付けます。



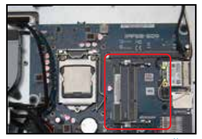
STEP＃28
ヒートシンクを取り付け、ネジを締めて固定します。ヒートシンクには CPU ソケットを固定するための 4 本のネジが予め取り付けてあります。ネジの近傍に記載されている丸数字の順番通りに順番に取り付けていきます。



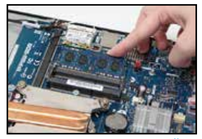

STEP＃29
数字の順番に従って 2 回から 3 回に分けて順にネジ締めをし、偏った力がグリスに加わらないように締めていくことをお勧めします。

STEP＃30
ヒートシンク左側の、ヒートパイプ末端部分の 2 カ所のネジは、付属品として添付されている黒い小さなネジ 2 本を使って締めます。合計 6 本のネジで固定することで、CPU・ヒートパイプの取り付けが完了しました。

## ◆メモリの取り付け



STEP＃31
マザーボード右側に SO-DIMM メモリ用スロットがあります。こちらにメモリを接続します。
本製品は DDR3-1333 SO-DIMM メモリを 2 枚まで接続することができます。



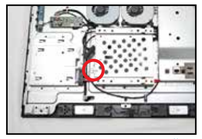
STEP＃32
下側のスロットが DIMM1、上側が DIMM2 になります。メモリを 1 枚のみ搭載する場合には DIMM1 側にとりつけます。メモリを斜め上からスロットに差し込みます。

STEP＃33
その後下にメモリを押し、固定させます。
メモリ側面の固定用ノッチでメモリモジュールが固定されていることを確認して下さい。

STEP＃34
メモリを 2 枚搭載する場合には、DIMM2 にも同じ要領でメモリを取り付けます。

STEP＃35
メモリを固定後、マザーボードを覆う金属板を取り付けます。左側ファンの突起部をくぐらせるよう、左斜め上から金属板を差し込みます。最後にネジ止めをして固定します。
※右側には各種端子類が出ているため、取り付けの際はこちらを破損させないようご注意下さい。

## ◆ストレージデバイス (SSD もしくはハードディスク ) の取り付け



STEP＃36
左側のネジ 1 本を取り外します。

STEP＃37
このように斜めに持ち上げることができます。

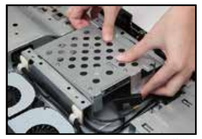
STEP＃38
そのまま上に取り外すことができます。

STEP＃39
裏返し、ストレージデバイスを取り付けます。
本製品は SATA 規格の 2.5 インチ SSD の他、2.5 インチ HDD、3.5 インチ HDD を取り付けることもできます。※固定用のネジは同梱しておりませんので、別途ご用意頂く必要があります。

STEP＃40
本説明では SSD を取り付けます。

STEP＃36
表面から 4 本のネジで固定します。

STEP＃37
ストレージデバイスの端子はネジ側 ( 左側 ) に来るように設置ください。



STEP＃38
先ほどと逆の手順で再度取り付けます。

STEP＃39
本体側にあらかじめ用意されているストレージケーブルを接続します。別途 SATA ケーブル・SATA 用電源ケーブルは不要です。

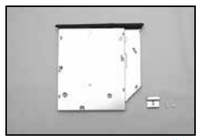
STEP＃40
最後にネジを取り付けます。

## ◆VESA マウント用金属板の再取り付けと光学ドライブの取り付け

STEP＃41
金属板をはめ、ねじ止めをします。

STEP＃42
ネジは 4 カ所です。

STEP＃43
背面板を取り付けます。本体と水平に置き、上から軽く力を加えるだけで簡単にはめ込むことができます。



STEP＃44
製品添付の光学ドライブを本体に取り付けます。光学ドライブが取り付けられていると背面板が取り付けられません。この作業は背面板の取り付けの後に行います。

STEP＃45
添付の L 字金具を光学ドライブ端子面に取り付けてください。上下逆に取り付けてしまうとネジの位置が合いません。また、この 2 本のネジのみ小さいため、No.1 サイズのプラスドライバーを使って下さい。

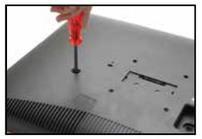
STEP＃46
ネジは銀色の一番小さな 2 本のネジを使います。付属品の袋にまとまって入っていますので、こちらをご利用下さい。若干大きい 4 本組の銀色のネジがありますが、こちらと間違わないようご注意下さい。

STEP＃47
端子面の L 字金具の取り付けが終わったら前面のプラスチックベゼルを取り付けます。ベゼルは付属品として添付されています。なお、ベゼルの固定はめ込み式になっているため、ネジは不要です。

STEP＃48
ベゼルは 4 カ所の爪で固定されるようになっています。向きを確認してからはめ込んでください。

STEP＃49
本体に差し込みます。

STEP＃50
完全に差し込まれると、本体背面左側の穴に設けられた本体側の固定ネジ穴と L 字金具のネジ穴が合致します。差し込みが不十分ですと、上記のように穴が二つに見えてしまいます。



STEP＃51
付属品に含まれる黒い子ネジを使って固定します。

STEP＃52
付属品に含まれる黒いゴム板で穴をふさきます。

STEP＃53
先ほどとは逆の手順で背面板の 5 カ所のネジを取り付けましょう。

STEP＃54
同じく、先ほどと同じ手順でスタンド ( 足 ) を取り付けます。2 本のスタンド用ネジを取り付けた後で、付属品の細長いゴム板を取り付けてネジ穴を覆います。

STEP＃55
以上が完了したら完成です。早速起動させてみましょう！

### ⚠ 注意

**【準備 *STEP＃10*】**

(※1) ドライバ等の工具を差し込んでこじ開ける方がやや作業しやすいものの、内部を破損する恐れがあります。破損した場合には保証外となりますのでお勧めできません。もし試される場合には十分にご注意下さい。強力に固定されているため、指を負傷する恐れがありますので、併せて十分ご注意下さい。

**【CPU の取り付け *STEP＃22*】**

(※2) CPU のソケットピンは極めて弱い力でも容易に破損します。服の袖でひっかけたり、意図せずピンに触れてしまうなどで、CPU をボード面と平行に慎重かつ徐々に置かなかった、わずかに CPU を斜めに置いてしまったなどの様々な理由で、意識しないまま破損させてしまうことがあります。本製品は問題が無いことを確認した上で出荷しており、ピンが当初から物理的に破損していることはありえません。扱いには十二分にご注意下さい。誤った取り付けたピン折れや曲がりといった物理破損の原因となります。また、ラッチを確認し、取り付け方向には十分ご注意ください。

### ⚠ 起動しない場合には

**・CPU のピン折れが無いかどうか確認してみましょう。**

CPU を取り外し、CPU ソケットのピンに折れ・曲がりが無いかどうか確認します。折れ・曲がりがある場合には修理が必要になります。( 有償となります ) また、本製品は LGA1155 規格の CPU( 最大 TDP65W) までとなります。正しい CPU を利用しているかご確認下さい。
併せてグラフィック機能の無い CPU を接続していないかご確認下さい。本製品を利用するためにはグラフィック機能付きの CPU が必要です。

**・メモリの抜き差し確認をします。**

メモリを 2 枚接続している場合には 1 枚に減らして再度試してみます。メモリが 1 枚でも改善しない場合・最初から 1 枚しか組み込んでいない場合には、差し込むメモリスロットを変更してみます。( 通常は下側の 1 番スロットに接続します ) また、本製品は DDR3 規格の SO-DIMM が必要です。異なる規格のメモリは取り付け出来ませんのでご注意下さい。

**・すぐに電源が落ちてしまう場合**

ケーブルや端子のショートが無いか、目視で確認しましょう。CPU の TDP が 65W 以下のものかどうか確認しましょう。TDP の高い CPU は本製品で利用できません。

※やはり起動せず、改善しないという場合には弊社サポートセンターまでご連絡下さい。